

A group of six children are playing a game outdoors. In the center is a large, round, patterned ball on a stand. A net is positioned to catch the ball. One child is jumping towards the net. Other children are running around, some holding small balls. A banner at the top reads 'うんどう' (Sports) and 'うかい' (Game).

<目次> [運動会熱中症対策](#)・[運動会写真許可](#)・[講演会告知](#)・[年次総会](#)・[理科授業](#)・[全校アンケート](#)・[講演会報告](#)
宿題クラブ・おすすめスポット・運営委員募集・委員長からの報告

日時	9 月 13 日	登校時： 8 時 55 分～ 9 時 45 分
		下校時：14 時 50 分～15 時 40 分
	9 月 20 日	登校時： 8 時 55 分～ 9 時 45 分
場所	入口 B	
有償配付 内容	紅白帽： \$12（幼稚部で配布されている型と違い、後ろに日よけ付きで暑さ対策に効果的です／サイズ S・M・L・LL 数量限定） はちまき：\$4（小 2 以上、所持していない人対象 ＊小 1 は教室で配付します）	

事前の有償配付に加え、運動会当日にはファントレイズのテントでもお求めいただけます。

1

【告知】「言葉で築く世界の懸け橋」岡崎詩織さん講演会（教育人事部）

ワシントン日本語学校の生徒たちには、将来、日本語と英語を活かして幅広い分野で活躍できる可能性があります。このたび、通訳等の分野で国際的にご活躍中の岡崎詩織さんをお迎えし、講演会を開催いたします。

講演では、ホノルルの補習校で学んだことを含め、日米両文化の中で育ったご経験について、また広報や通訳の仕事を志したきっかけ、さらに日本語と英語を使って日米をつなぐ仕事の難しさや魅力についてお話しいただきます。生徒たちが将来の進路を考える上で、大きなヒントとなる貴重な機会です。ぜひご参加ください。



岡崎詩織さん

「言葉で築く世界の懸け橋」

- 日時：10月11日(土) 午後4時～午後5時
- 場所：SR校演芸場
- 対象：主な対象は高校生ですが、小学生・中学生、保護者の方も大歓迎です。
- 参加申し込みは不要ですので直接会場にお越しください。

【予告】2025年度年次総会は10月18日（土）に開催



2025年度の年次総会が、10月18日（土）、聖心SR校1階ピックアップ・ドロップオフ待機室にて開催されます。開始時刻は現在調整中ですが、朝のドロップオフ後に開始予定です。

当日は、東間校長先生より本校の教育方針などについて、詳しくご説明いただきます。また、管理運営委員会各部の活動報告や、小委員会からの発表も予定されています。なお、今回の総会も対面のみで開催となります。総会皆様のご意見やご提案をいただく貴重な機会です。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。詳細は一斉メールにて改めてご案内いたします。

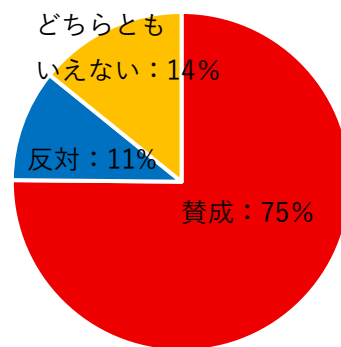
総会についてのご質問は（uneiiinkai@wjls.org）までお寄せください。

【報告】理科授業導入アンケートの結果（理科授業導入検討小委員会）

昨年12月に発足しました「理科授業導入検討小委員会」では、理科授業導入の是非について保護者の皆様のお考えを伺うため、6月にアンケートを実施いたしました。

夏休み直前のお忙しい時期にもかかわらず、265件（全世帯の約73%）ものご回答をいただき、心より感謝申し上げます。その結果、「賛成」75%、「反対」11%、「どちらともいえない」14%となりました。

学年別では、小学5～6年での実施に賛成する声が83%と最も多く、最多となりました。



理科授業導入アンケート結果

これまでも毎年の全校アンケートで「理科授業を導入してほしい」というお声を多くいただいておりますが、今回の調査により改めて導入への期待の大きさを確認することができました。また、賛成・反対にかかわらず、理科授業について真剣にご意見を寄せてくださったことに、厚く御礼申し上げます。

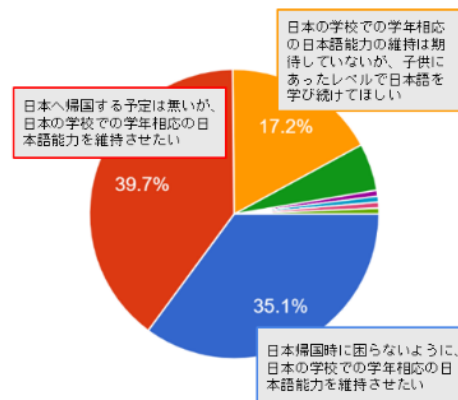
いただいたご意見を参考にしながら、小委員会では今後も理科授業導入についてさらに検討を進めてまいります。

【報告】全校アンケートの結果をお知らせします（教育人事部）

昨年度末に実施しました「全校アンケート」へのご協力ありがとうございました。保護者 151 名、教員 20 名の方々にご回答いただきました。アンケート結果の詳細は、本校ホームページ「保護者ページ」の「アンケート」欄にてご覧いただけます。なお、自由記述の一部につきましては、プライバシー保護の観点から掲載を控えさせていただきますのでご了承ください。アンケート結果の概要と結果に基づく新たな活動を以下にご報告いたします。

多様化している本校のニーズ

「日本語学校に通わせる理由」については、「帰国予定はないが、日本の学校での学年相応の日本語力を維持させたい」が約 40%と最も多く、続いて「日本帰国時に困らないように」が 35%、「子供に合ったレベルで日本語を学び続けてほしい」が 17%でした。永住組と帰国組が拮抗し、学校に求められる役割の多様化が明らかとなりました。共通基盤として日本の学習要領に基づく内容を提供しつつ、本校の方向性を今後も考え続けていく必要があります。



学習計画表にさらなる工夫を

学習計画表について、「使いやすい」と回答した方は約 30%にとどまり、「使いやすいとは思わないが、自分なりに工夫して使っている」「改善が必要」との回答が約 50%を占めました。昨年度に比べ満足度がやや下がっている点も懸念されます。学習計画表は、学習内容や課題・宿題など、家庭での学習（共働学習）を進めるために必要な情報を保護者に伝える大切なツールです。今後もさらなる改善を図っていく必要があります。

全校アンケートの結果を反映した新たな活動

アンケート結果を受けて以下の新しい取り組みがスタートしました：

- 大学進学説明会の企画：アメリカと日本双方での大学進学に向けて、保護者の経験談の共有や、日本大使館の専門家による講演会を企画、実施しました。ワシントン日本語学校の立地と、保護者・生徒・卒業生の多様な経験を活かした特色ある取り組みです。
- 理科授業の導入検討：小委員会を立ち上げ、様々な角度から理科授業再開を検討中です。理科授業ならではの仮説設定や観察・実験を通じて、日本語で理科を学べる場の提供を目指しています。
- 総会議事録の周知：アンケートで「知らなかった」との声が多かったため、改めて総会議事録の HP 掲載をご案内しています。



最後に

新たな科目の追加といった長期的な取り組みから、ちょっとした注意喚起や新たな配慮に至るまで、アンケートにご協力いただいた皆様の気になる点やご提案には、計画的かつ柔軟に対応してまいります。

「自分のコメントは反映されないのでは？」とご心配されている方もご安心ください。運営委員会では、すべてのコメントに目を通し、何らかの形で、今後の運営に活かしてまいります。今後も「みらい通信」を通じて、さまざまな視点から皆様と情報を共有していく予定です。少しずつではありますが、これまでの活動が実を結び、皆様のご期待に応えられるよう、そして本校が子供たちにとってより良い学びの場となるよう、これからも一步一步進んでまいります。

【報告】「日本の大学で学ぶ選択肢」講演会（教育人事部）

前期授業最終日となった6月21日、ワシントン日本語学校では、日本大使館から安藤博（ひろし）参事官をお招きし、「日米教育交流と、日本の大学で学ぶという選択肢」と銘打った講演会を開催しました。当日はうだるような真夏日で、しかも前期最終日の放課後であったにもかかわらず、保護者・生徒を含め約40名が参加。日本の大学への留学、進学意欲の強さが伝わる講演会となりました。



講師の安藤参事官は、文部科学省に所属し、現在は在アメリカ日本大使館で外交官として日米教育交流に日々努めておられます。講演会では、まず外務省や日本大使館の様々な日米交流事業の概要説明があり、日本への留学生数増加を目的とした日本政府や各大学による数々の試みが紹介されました。その後、本校生徒や保護者にとって最も興味深いトピックである「日本の大学で勉強する数々の方法」について詳しくお話いただきました。

講演会の資料はこちら。[\(https://www.wjls.org/parents/lecture/\)](https://www.wjls.org/parents/lecture/)

安藤博参事官

まず、日本の大学への入り口である入試を受ける時点で、帰国生徒（帰国子女）入試、留学生入試、自費留学、国費留学など、様々な方法があることをご紹介いただきました。例えば、帰国生徒入試一つを取っても、受ける大学によって、現地成績重視型、入試成績重視型など、色々な体系があります。入学後は、他の日本人生徒とともに日本語で勉強する帰国生徒入学もあれば、英語で学位が取得できる大学（特に大学院）もたくさんあること、その他、日米両国の大学から学位が授与されるジョイントプログラムなど、一概に「日本の大学で学ぶ」と言っても、実に多様な方法があることがわかりました。

このように大学への「入り口」も様々ですが、その「出口」、大学を出た後の就職や大学院への進学も様々です。「自分が何を学びたいか」といったミクロな視点のみでなく、「今後自分は日本とどのように関わっていきたいのか、日本で日本人として生きていきたいのか、それともアメリカ人として日本に関わっていききたいのか」といった、自分の人生観やアイデンティティーにも及ぶマクロな視点を持って大学進学を考える必要がある、とのお話に、その選択の重大さに気づかされました。



しかし逆に考えれば、それも日米のバイリンガル、バイカルチュラルである本校生徒の皆さんの持っている多様な選択肢と大きな可能性の表れでもあり、少し羨ましいような、また、生徒たちの未来を想像して嬉しくなるような喜びも感じる機会となりました。講師の安藤参事官も、「日本語学校の生徒は、日米の架け橋となる高度グローバル人材の原石」とおっしゃっておられたのが印象的でした。

お忙しい中、講義の準備、本校事務局・運営委員会とのやりとりにもお時間を割いていただき、また当日は真夏日の中、スーツ姿でご来校くださった安藤参事官、本当にありがとうございました。

5月に開かれた「カレッジアドミッション」パネルディスカッションに引き続いての今回の講演会。運営委員会教育人事部が主催した、大学進学関連イベントの第二弾でした。これらのイベントは年度末に行われた保護者アンケート結果から聞こえてきた、「進学に関してもっと知りたい」という皆様のリクエストにお応えしたものです。

これからも、皆様のお声にできる限りお応えしていきたいと思っておりますので、保護者アンケートへ引き続きご協力をお願いいたします。

『宿題クラブ』をご存じですか？

「学び」と「つながり」を育む－宿題クラブのご紹介



異年齢の交流を通じて、日本語での自然な対話を体験する放課後の学び場

アメリカで暮らしながら、子供たちが日本語で学び、考え、誰かと関わる－そんな機会を提供するのが、昨年スタートした【宿題クラブ】です。宿題クラブは、当校に在籍する小学生が放課後に集まり、自ら宿題に取り組む様子を中高生がそっと見守り、必要に応じて手助けをする場所です。家庭教師のように一方的に教えるのではなく、子供同士の対話を通じて「どう考えるか」「どう解決するか」を一緒に探っていくことを目的としています。

子ども同士だからこそ生まれる、“自然な日本語”のやり取り

アメリカに暮らす日本語学習者にとって、教室の外で「日本語で自然にやり取りをする経験」は、とても限られたものです。宿題クラブでは、同年代、または少し年上の先輩から日本語で話しかけられ、日本語で質問をし、日本語で理解しようとする姿勢が自然と育まれます。中高生にとっても、わかりやすい日本語で説明するという経験は、自身の日本語力を見直す貴重な機会になります。互いに学び合い、育ち合うこの環境は、アメリカという地で日本語を学ぶすべての子供たちにとって、かけがえのない体験となるでしょう。



“活動内容”

小学生が自ら行う宿題を、中・高校生が見守り、手助けしています。家庭教師ではないので、答えを教えることを目的としませんが、回答に導く手助けをします。

※保護者は監督として同席していますが、導くのはあくまでも中高生です

“参加できる人”

- ワシントン日本語学校に在籍していること
 - 宿題をしたい、小学1年生～6年生
 - 手助けをしたい、中・高校生。
- 何年生でも大歓迎です。

※いずれも人数制限があります

※中・高校生で必要な方はSSL（ボランティアアワー）も取得できます！

“活動日”

基本的に毎週開催していますが、時々お休みになる事もあります。

※9月はお休み中です。運動会終了後再開します。

“活動場所”

280 教室（校舎2階）職員室の近くです。

“手続き”

宿題クラブのホームページ

<https://shukudai.club/> から申し込み手続きをしてください。

“問合せ先”

代表：樋川浩之、浅野幸枝

shukudaiclub@wjls.org



小3・保護者

宿題をある程度終わらせてくれるので、平日は親子で余裕ができ、とても助かっています。高学年の子たちと一緒に遊べるのをとても楽しみにしています。

小3・保護者

毎週、宿題クラブに参加できるか子供に尋ねられます。お兄さん、お姉さんと楽しんで宿題ができ、喜んでやってくれるので助かっています。宿題後のゲームも楽しみな様子です。

保護者の
皆様の声

小1・保護者

中高校生が、優しく励ましながらか見てくれるので、嫌がることなく、一生懸命取り組むことができます。親が宿題を見ると「ママうるさい！」と言われるので、親によっても子にとってもストレスが無く、助かっています。



小5・保護者

中高生の生徒さんが子供たちのロールモデルになってくれているので、続けていくとこんな風になれるのだという目標が見えるのがモチベーションになります。

中3・山岸雄治

人に教えるという事が、自分にとって楽しみにもなり、一番の勉強になると気付きました

中高校生
の声

高1・別所 凛

色々な出会いがあって、毎週楽しいです(^ ^)



高1・樋川心瑛

色々な生徒（特に小学生）にとって、日本語学校に通うのはとても大変だと思います。なので、宿題クラブでできるだけ宿題を終わらせれば、手助けになってくれるといいなと思います。友達や中高生と交流して、楽しみを増やしましょう！

高1・西村有紗

かわいくて、癒されると同時に、子供に寄り添い、教えるという事が大事な経験になっています♡

中3・黒坂朱々子

違う学年、下から上まで色々な人と交流できて、毎回新鮮でとても楽しいです。自分が教えていても「あれ？」と分からなくなったりして、私にとっても復習になっています☆シ

高2・高梨華瑠

子供と毎週触れ合い、一緒に勉強するのが楽しいです(^.^)

【特集】ワシントン日本語学校周辺のおすすめスポット紹介

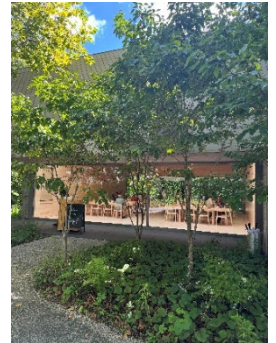


毎週土曜日に子供を学校に送った後、皆さんはどのように過ごされていますか？近隣にお住まいの方は、送迎の合間に一度ご自宅に戻ることもできますが、遠方から通うご家庭では、お子さんの授業が終わるまでの長い時間を外で過ごす必要があります。現在、校舎内には保護者専用の待機場所が無いため、今回の特集では、保護者アンケートをもとに、待ち時間を快適に過ごせる近隣スポットを4つのカテゴリーにわけてご紹介します。

1. 静かに集中できる図書館

「涼しくて快適。パソコン作業もはかどります」と人気の図書館。いずれも学校から車で10分圏内にあり、Wi-Fiと電源完備。仕事や読書など落ち着いて作業したい保護者の皆さんにぴったりです。

- ① **Connie Morella Library** Quiet Roomもあり、近隣では一番広く明るい雰囲気。
- ② **Davis Library** 広めの机や座席があり子連れでも入りやすい。
- ③ **Kensington Park Library** 館内がリニューアルされ座席数も増加。

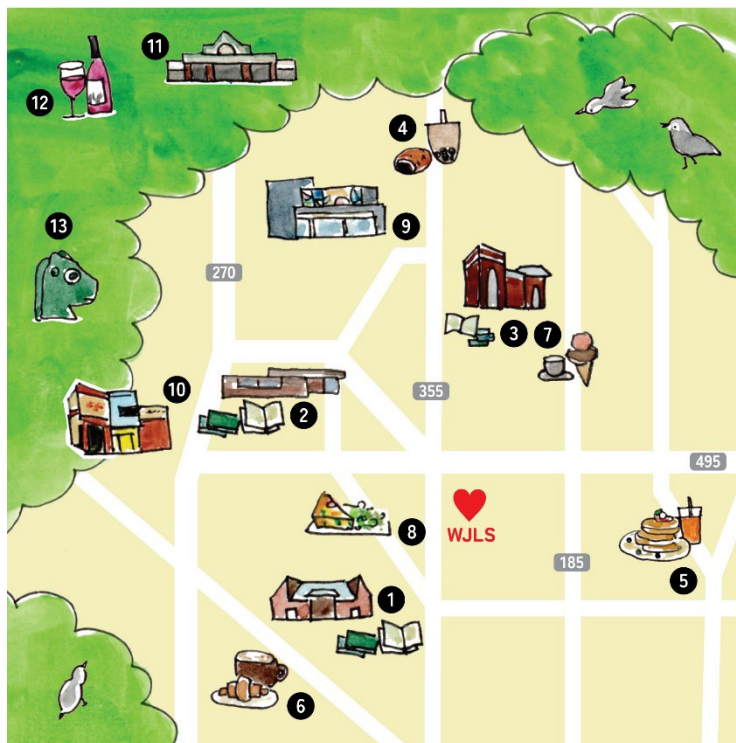


Glenstone Museum

2. リラックスできるカフェ

ママ友さんとの情報交換など、おしゃべりしながら、コーヒーもランチも楽しめるカフェが多数あります。

- ④ **Teamania** 日本風カレーパンが人気で、子供のおやつを買って帰るのにも good !
- ⑤ **Java Nation** 広い店内でコーヒーやランチが充実。近隣に複数店舗があり便利。
- ⑥ **Tatte** 雰囲気が良く、サンドイッチなどフードメニュー充実。オリジナルドリンクも美味しい！
- ⑦ **La Gelateria** 手作りジェラートやランチメニューが楽しめ、居心地が良い。コーヒーも美味しいと評判。
- ⑧ **Tout de Sweet** 美しいフランス風ペストリーが人気。甘いもの好きにおすすめ。



3. 週末にぴったりのショッピングスポット

「買い物もランチも一箇所でする！」と好評なスポット。家族で楽しめます。

- ⑨ **Pike & Rose** おしゃれなレストランやカフェに加え、UNIQLO などの子供服や、パパの好きなアウトドアブランドも充実。ファーマーズマーケットあり。
- ⑩ **Westfield Montgomery Mall** 雨の日でも安心の大型屋内ショッピングモール。フードコートも充実
- ⑪ **Lancaster County Dutch Market** アーミッシュの伝統的なプレッツェルやチキンが美味しい！

4. ちょっと特別なおでかけ先

日本語学校から車で30分以内で行ける素敵な場所です。

- ⑫ **Rocklands Farm Winery** 緑豊かな景色の中でワインやノンアルコールドリンクを楽しめます。フードベンダーが出店しているのでランチにも◎。小さなお子さん連れでも過ごしやすいです。

- ⑬ **Glenstone Museum** 12歳以上から入館できる落ち着いた美術館。事前予約で無料。広大な庭園を散策でき、Wi-Fi 有のカフェやパティオの雰囲気も格別です。

☆アンケートに情報提供して下さった保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました☆



YAMATO
TRANSPORT
U.S.A.

INTERNATIONAL
MOVING SERVICE



お荷物の多い方!時間のない方!
面倒なお引越は全てまかせて
ら〜くら〜!



安心

引越
らくらく 海外パック

箱に入らない家具や
自転車なども送りたい、だけど安く
済ませたい!そんな方へ



丁度
いい

ベーシックプラン

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をして節約!
すぐに必要ではない
お荷物は船便で割安に



節約

単身プランSea

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をされる方
必要な荷物を
最短の所要日数でお届け



早い

単身プランAir

各サービスの詳細はウェブサイトにてご覧いただけます /

www.yamatoamerica.com/cs/



フリーダイヤル 5 4 5 6 5 8
1-866-5-KIKOKU

日本以外の世界中へのお引越・米国内のお引越も!

米国ヤマト運輸 ワシントンDC支店

22930 Quicksilver Drive, Unit 115
Dulles VA, 20166

Phone: (703) 661-3501

Email: wasoperat@yamatoamerica.com

ここに掲載されている会社・団体を利用したことによって生じたいかなる損害に対しても、ワシントン日本語学校管理運営委員会は一切責任を負うものではありません。

【募集】管理運営委員の募集（随時）

管理運営委員会では、随時委員を募集しています。お子様の卒業、委員の任期満了の他、ご本人やご家族の都合による帰国など、予期せぬ事情により欠員が出ることがあるためです。早ければここ数ヶ月の間に新委員に就任していただく可能性もあります。

運営委員なんて特別な人がやるものなのでは？と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、そんなことはありません。運営委員のバックグラウンドは様々で、お子さんの学年、委員の職業や米国滞在年数など、全く異なります。共通しているのは、ワシントン日本語学校の一保護者として、学校を支え、今そして将来の在校生のために、学校をより魅力的な場にしていこうという気持ちです。委員になったからこそ得られる学びもたくさんあります。

管理運営委員会の活動にご興味がある方、ぜひお話ししましょう！ お気軽に uneiiinkai@wjls.org までご連絡ください。あるいは、お知り合いの運営委員までお声がけください。

委員長からの報告

皆様、夏休みが明け、早いもので9月も2週目になりました。朝晩は涼しくなりましたが日中はまだまだ暑い日もある今日この頃です。9月最終週には運動会があります。暑すぎず寒すぎない「ほど良い」お天気になることを願う日々です。

6月のみらい通信でも触れましたが、運動会は、日本語学校関係者皆様のご協力なしには成り立ちません。保護者の皆様からのお手伝いはもちろんの事、生徒たちも上級生になると、運動会に参加するだけでなく、朝の準備や夕方の片付けや、運動会中の係など、様々な形で運動会を支えてくれています。必要な人数や準備すること・ものの量だけみたらとても大変なイベントですが、皆で協力し合えるこの機会からは、得難い経験もたくさんあると感じています。

運動会のお手伝いを通じて、「お手伝いポイントもつくし、最近運動不足だからいいエクササイズの機会でお得♪」「お手伝いポイントもつくし、先に運動会会場の様子を観察出来てお得♪」「お手伝いポイントもつくし、他の保護者と知り合いになれてお得♪」と感じつつ、ご協力をいただければ幸いです。

引き続き、保護者の皆様からのワシントン日本語学校及び管理運営委員会へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



委員長： 栗原美恵
副委員長： 大久保智夫
総務部： 大光麻紀子（部長）・青柳陽介・魚澤智子・カリクレッテ郁子・ジャコブソン彩子
財務部： 安東宇（部長）・生島奈美
教育人事部： 向山こずえ（部長）・黒木友里・寺部正記・デカストロさやか・中村公紀
広報・PS部*： 竹内由美（部長）・横山優子・渡部智彦
学年代表： ジョーンズ紀子（低・中学年代表）・シーブルック留実（高学年代表）

* 広報・パートナーシップ部の略

